

『向島の豊かな自然と生きものたち』

第13回 ナンキンハゼに集まる虫

向島の高見山の、北のふもとに向島洋らんセンターがあります。
ここの芝生広場は、家族連れや洋らんを買うお客様、ドライブや旅の途中に休憩するために緑にかこまれた園内で自由に楽しめる、みんなの憩いの広場になっています。

この園内に「ナンキンハゼ」という木が数本あります。

昔はこの木の実をしぼって
「ろうそく」の原料を採っていたそうです。

初夏の頃、
ナンキンハゼの花が咲き始め
ると、ものすごい数の虫たちが
集まります。
花の花粉を集めたり食べたりす
る虫や蜜を吸うチョウ、
虫をねらっている狩りバチなどなど・・・
いっぱいの虫がぶんぶん飛び回っています。

今回はこのナンキンハゼに
集まる虫たちです。

「ナンキンハゼ」(南京櫛)
トウダイグサ科の落葉高木

和名はハゼノキの代わりに蠟をとる材料として使われる
ようになった。中国原産の意味である。

イラスト：江頭 正

花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ

つるかめクラブ

